

分類 1.3.5.0.10

機密第四四號	昭和十五年三月八日	在天津	總領事 武藤義雄	外務大臣 有田八郎殿	出版物檢閲日報提出ノ件	本件ニ関シ何等御参考迄ニ別添ノ通リ茲ニ報告申進ス
--------	-----------	-----	----------	------------	-------------	--------------------------

S 1.3.5.0-1

526

0802

情 15.3.20 庶

情報部

第五課長

反共情報同	現代知識同	遠東同	國策評論同	東洋經濟新報	日本經濟同	維新公論
第二卷	第三卷	第二卷	第一卷	第一八號	第五卷	第三卷
同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同
事變處理の動向 (三三頁削除)	アジア問題ニ關スル若干ノ考察 (四三頁)	「學生ノ北支事變ニ對スル態度」ト 下註スル表(七六頁削除)	唯汪兆銘の親英主義 (一六八頁削除)	歐洲動亂と支那の現政局 (五三頁削除)	臺灣電力の偉容と業績 (二三、四頁削除)	全般的

S 1.3.5.0-1

419

0798

天警高秘第七九號

昭和十五年三月四日

在天津日本總領事館警察署長

外務省警視 田島 岡平

出版物檢閲日報提出ノ件

本件ニ関シ高署管內ニ於ケル出版物檢閲具他ノ狀況厄記・通り何等御参考迄ニ報告申進ス

一出版物檢閲概況

二月ニ於テ發行ワレル出版物中檢閲ヲ實施シタルモ

在天津日本總領事館警察署

ノ新聞紙九種 雜誌上種、計二十種ニシテ之等出版

物中發賣頒布ヲ禁止シタルモノ無キモ削除處分ヲ

爲シタルモノ、如シ(詳細別表ノ通り)

(一) 削除處分ニ附シタルモノ

ノ禁止事項ニ関スルモノ

新聞紙 一件

又單機関スルモノ

新聞紙 二件

誤報ニ関スルモノ

新聞紙 一件

二 出版物の本寄贈概況

二月中ニ於テ發行ワレル出版物ノ兩本抜ハ新

聞紙九種 雜誌上種計十種ニシテ外地發行ニ際シ

S 1.3.5.0-1

528

S 1.3.5.0-1

527

0799

出版物寄贈数ハ新聞紙ニシテ種々雜誌六種計三十三種ナリ

三、新ニ發行ヲ許可シタル出版物

ハ中華通信(華文通信)日刊

ニ短歌(短歌雜誌)月刊

ヨ裕興(會社機関誌)月刊

四、其他ノ参考事項

ナシ

五、附録目下欄記載事項

S 1.3.5.0 -1

529

0800

REEL No. A-0432



アジア歴史資料センター

別表

二月中検閲削除処分表

名稱	種類	発付日	削除日	理由	記事内容
天津日日	削除	二、三	二、三	軍機	部隊名ヲ記シタル爲メ
天津日報	"	二、七	二、六	"	石ニ回シ
"	"	二、三〇	二、二〇	禁止事項	合意問題ト同スニテ穩
"	"	二、二九	二、二九	誤報	此ノ如ク召喚シテ取柄ナク

五石書局大蔵庫軍事官警部

S 1.3.5.0 -1

530

0801

情報部長

特檢第四七八四號

昭和十五年五月六日

昭和十五年五月廿一日 接受

群馬縣知事 熊野 英

淡谷 三子

外務大臣 兒玉秀雄殿

海軍大臣 吉田善吾殿

外務大臣 有田八郎殿

近衛縣長官殿

(写管下各警察署長殿)

分地/9.5.0.10

新聞発表記事ニ対スル懷疑的
言動ニ関スル件

要 最近新聞記事ハ不可解ノ英カ多ク、例 浅間丸事件、如キハ
物質不足ニ依リ、動搖ヲ恐レテ国民ノ関心ヲ散向サセル為ニ殊更ナキ
取上ゲテ所謂政府ノ芝居ヲサウダ、歐洲問題、記事ノ如キモ之ニ似通
テ是レ称ダガ事實トスレバ、重大事ダ

管下 佐波郡 米女村 大字 伊典久

同村々 會議員 新井 浅次郎

右者標記、件ニ関シ、所轄境警察署員ニ対シ左記言

動有之

右及申(通)報候也

記

最近新聞記事ニ真實ノコトヲ書クカ、其レ共今日、
新聞が國外ノ輿論ヲ統一サセル為ニ或種ノ問題ヲ撰テ殊
更ニ針小棒大ニ書キ立テ國民性ヲ巧ニ利用スルノカ?

S 1.3.5.0 -1

671

S 1.3.5.0 -1

670

0803

㊞

可解ノ莫カ多分一有ル様ダ、此ノ莫ニ就テ自分ハ相与
ノ人カラ斯様ノ話ヲ聞イタ、例ノ浅間丸事件、如キ日本
テモ彼ノ種ノ事ハ、サラロニヤワテ居リ又海ノ真中テ行
ハレタノテ何等國際法上問題ニスルコトハ、只當時日
本ハ亦憂テ未問題、石炭問題其ノ他凡ユル物資カ不円
滑トナリ國民ハ騒キ出シ、証ガ生シ國民不安カ一層熾烈
ノ状態ニ立至ワタノテ支那事変遂行途上ニ於テ斯ル状
勢ハ一時モ放任ヲ許サザラ察知シテ政府ハ此ノ障碍
ヲ除ク良キ方法ハナイカト考慮ノ先、不測モ彼ノ浅間
丸事件カ出来タノテ機ヲ逸セズ國民ノ関心ヲ此ノ方面ニ向
ケシメテ國內ニ於ケル至濟不安問題ヲ一掃シテ、此ノ点
有田外相ノ外交ハ賞讃スベキテ、野村外相ハ此ノ至善ハ打

S 1.3.5.0-1 672

0804

テ、張録彦ノ録彦ニト有田外相ハ當時誠心ニ賞
讃サレタ、林ノ譯タ
歐洲問題ニ之ニ似テ感シカ多合ニアル様ニ思フ又那
新中央政府成立ト共ニ國民カ一層協カヲ必要トスル時ニ
際リ新聞記事ニ依レバ、戦争ノ進展シ至濟界ノ憂
ハ、少シモ表サレテ無イ、テドウモ新聞記事カ信頼出来
ナクナワテ来タ、斯ウシテ不安カ募ワテ頼ミトスル新聞カ信
頼出来ナクナワテトキノ事ヲ慮ヘルト之ハ重大事ナ

S 1.3.5.0-1 673



持外歐第六四八號

昭和十五年五月十日

警視總監 安倍源基

内務大臣 尾玉秀雄 殿

北海道、青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口

情調

駐日蘇聯邦大使館並館員等本邦圖書購入状況ニ関スル件

(前報四月八日持外歐第四七三號)

駐日蘇聯邦大使館、司通商代表部及館員等が本邦各種情報蒐集ノ多
書籍雜誌等ノ出版物購入ニ努メ居ル状況並之ヲ取締ニ関シテハ屢報ノ
及、四月中購入セル雜誌及書籍ノ中判明セルモノ別記ノ通ニ有之
右及申(通)報候

(附記) 1950.10

題名	部数	価格	発行所	購入日	備考
共済報	各一	三〇〇	研究社	三月三十一日	東京
共済報	四	二四〇〇	研究社	〃	東京
共済報	四	四〇〇〇	大衆堂	〃	東京
共済報	四	三〇〇〇	東京堂	〃	東京
日本重工業	一	五〇	〃	四月号	〃
共済報	一	三五	〃	四月六日	〃
共済報	四	四〇〇〇	横濱	〃	〃
共済報	四	七〇	〃	四月号	〃
共済報	四	三六〇	岩波書店	〃	〃
共済報	一	五八〇	〃	〃	〃
共済報	一	二五	〃	二月号	〃
共済報	一	三五	エコンミスト	〃	〃
共済報	一	一四〇	和文露訳	〃	〃
共済報	一	一三〇	スタンダード和英辞典	〃	大塚館
共済報	一	五〇	タイムメント	〃	〃
共済報	一	四〇	共済報	〃	〃
共済報	一	三五	エコンミスト	〃	〃
共済報	一	七〇	雄辯	〃	〃
共済報	一	六〇	外交時報	〃	〃
共済報	一	七〇	水沼財取情報	〃	〃
共済報	一	四五	共済報	〃	〃
共済報	一	二〇	改造	〃	〃

S 1.3.5.0 -1 675

S 1.3.5.0 -1 674

0805



労働時報	1	15		三月號	新町	六言海	5	300	富比奈
日本評論	1	100				商業経済辞典	2	760	同文館
國際人名辞典	1	250	多志堂			新聞語辞典	1	250	栗田書店
エコノミスト	1	35		四月十日		英文支那経済年鑑	1	350	栗田書店
東洋経済	1	100		四月十日		日本経済年報	1	100	
大辞典	1	450	成成社		芝園 大泉堂				
<i>A text Book of Colloquial Japan</i>	1	600	教文館						
<i>English-Japan Dictionary</i>	2	1000	教文館						
<i>JapaneseRanking for beginners</i>	2	1000	教文館						
日華大辞典	1	350	内外書肆						

2 S 1.3.5.0-1 676 0800

陸軍武官室(大坂館内)

週報	3	15		四月十日	新町	週報	3	15	四月十日
東洋経済	3	100		四月十日		経済知識	3	100	五月号
新日本圖帳	1	200	ワニ書院			スポーツ	3	100	五月号
自動車取扱法	1	300	国際自動車 車協會			タイムズ	3		四月十日
空のまもり	2	300		四月十日		<i>Who's who in Japan 1931</i>	1		
航空知識	2	200		四月十日		<i>Who's who in Japan 1930</i>	1		
エコノミスト	3	100		四月十日		エコノミスト	3		四月十日
支那事変速報	1	100				空	3		五月号
軍事年鑑	3	300	信行社			週報	3		四月十日
本邦財界情勢	3	100		四月十日		東洋経済	3		四月十日
文藝春秋	2	100		五月号		自動車工業	3		五月号
東洋経済	3	100		四月十日		エコノミスト	3		四月十日
						インダストリー	3		五月号

S 1.3.5.0-1 677



三 海軍武官室 (大坂館内)

空	海と空	支那事変全輯	飛	海行のほ	海防	第一敵対戦争 潜水艦戦	深海の襲撃者	近海軍と海戦	英米海軍誌一九四〇	海軍誌水五六七八	同洋解
三	三	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一
一六〇	二二〇	二五〇	一八〇	一〇〇	一〇〇	五八〇	一八〇	一〇〇	三二五〇	一〇〇	一〇〇
四月号	四月号	二月号	四月号	四月号	四月号	海軍編纂社	博文館	博文館	海軍編纂社	海軍編纂社	海軍編纂社
大坂區 大坂堂	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
国民防空	飛	海軍學誌水	飛行機隊の 理論と實際	空のまもり	海運	航空時代	機校水	新聞著辞典	港考	送假名辞典	スピード
二	一	三	一	三	三	一	一	一	三	一	三
六〇	六〇	六〇〇	二七〇	四五〇	三〇〇	一八〇	三五	二五〇	一〇〇	一〇〇	一八〇
四月号	四月号	〃	〃	四月号	四月号	四月号	五月号	四月号	四月号	五月号	五月号
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

S 1.3.5.0-1 678 0807

飛行	海と空	六日本港考 統計十三集	現代日本港港の研究
三	三	三	一
〃	三九〇	一八〇	五〇〇
四月号	五月号	海運編纂社	〃
〃	〃	〃	〃
南洋年鑑	海軍少集	Journal of Shipping Studies 1939	〃
一	二	一	一
六〇〇	一〇五	五〇〇	〃
〃	〃	海運編纂社	〃
〃	四月号 谷川書店	〃	〃
〃	〃	〃	〃

四 通商代表部 (麻布區新巻土町十二)

エコノミスト	水産関係 法令綜覧	外國貿易 四半表 十五年	水産週報	職員録九七	東洋経済	國勢グラフ
一	一	一	一	一	一	一
三五	一五〇	一〇〇	一〇〇	六〇	三五	一〇五
四月日 大塚堂	水産社	印刷局	四月日	六盟館	四月六日	三月号
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
マンズリー サーギエラー	水産週報 普及	エコノミスト	ダイヤモンド	東洋経済	エコノミスト	外國貿易月表
一	一	一	一	一	一	一
〃	三五	三五	五〇	四〇	三五	〃
四月号	四月八日	四月十日	四月十日	四月十日	四月十日	二月号
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

S 1.3.5.0-1 679

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 儀典 文書 會計 會社 祕書官

大臣 次官

電信課長

(分類) 1.3.5.0-1

昭和15 五四三一三 暗 北京 五月十七日後發 本省 十七日夜着 情

有田外務大臣 藤井參事官

第三八四號

貴電第二九八號ニ關シ「グプタ」ニ關スル新聞記事取調方依頼ノ件
 華北交通會社係科長ニ對シ内容機密ニ亘ル事項ノ外務發表ニ關シ嚴
 重注意ヲ喚起スルト共ニ調査方依頼シ置キタル處係科長ヨリ右ハ同
 社祕書係員ノ不注意ノ爲外部ニ洩レタルコト判明セルヲ以テ責任者
 ヲ叱責シタル旨竝ニ本件ニ對シ遺憾ノ意ヲ表スル旨回答越セリ「グ
 プタ」本人モ先般歸朝前當地ニ立寄り當館ニ出頭シタルカ「サバル
 ワル」カ「グ」ニ對スル個人的感情ニ依リ同人ヲ誹謗スルカ如キ報

件本邦新刊雑誌取付

S 1.3.5.0-1

685

0810

記

氏名不詳

Portrait map of Tokyo	1	10	100				
Portrait map of Osaka	1	10	100				
Japan State Guide 1940	1	100	100				
Academic and Cultural Organism in Japan	1	100	100				
Map of Japan	1	100	100				
Manchuria, East and West	1	100	100				
Manchuria, North-China	1	100	100				
Doc-Japan - Japanese Ranking for Beginners 1941-5	1	100	100				
Japan Manchuria Book 1940	1	100	100				

S 1.3.5.0-1

682

0809

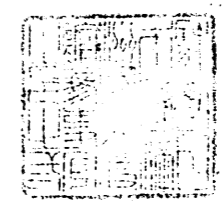
通商局長

日大經第 三二九號

康德七年三月一日

駐日滿洲國大使館
參事官 古木 隆 藏

外務次官 谷 正之 殿



情報部

滿獨貿易ニ關スル新聞紙記事取締ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ本國外務局次長ヨリ別紙ノ通り通牒有之候ニ付委細
右ニテ御了悉ノ上可然關係機關ニ御連絡相煩度右御依頼旁々得貴意
候

松本

駐日滿洲國大使館

7.2.15.100.000 A

S 1.3.5.0 -1

500

0815(記)

外政四秘第五五號

康德七年二月二十三日

外務局次長 田代重德

駐日本
大使館參事官 野田清武 殿

官

滿獨貿易ニ關スル新聞紙記事取締ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ貴方既ニ御承知ノ通滿獨兩國間ニ於テハ現行滿獨貿
易協定更新ニ關スル交渉開始セラレオルトコロ右ハ現下ノ世界情勢
ニ鑑ミ對獨交戰國ニ對シ微妙ナル影響ヲ及ボス虞有之可ク思料セラ
ルルニ付右ニ關スル記事ハ國務院弘報處ヨリ發表スルモノ以外ハ一
切新聞紙等ニ掲載セシメサル様今般治安部ヨリ各警察機關ニ對シ別
添寫ノ通之ガ取締方通牒シタルニ付テハ委曲右ニテ御了知ノ上日本
側ニ於テモ滿側ト同一歩調ノ下ニ可然措置アル様依頼置相成度

駐日滿洲國大使館

7.2.15.100.000 A

S 1.3.5.0 -1

501

0816

尙現ニ陸路經由ニテ實施シオル滿獨貿易ニ關シテモ同様記事掲載ヲ
禁止シオルニ付右ニ關シテモ併セテ同様ノ措置方日本側ニ依頼置相
成度

本信寫送付先 駐哈爾濱特派員、大連、滿洲里辦事處長

日本大使館參事官

駐日滿洲國大使館

7, 2, 15, 100,000 A

S 1.3.5.0 -1 502

0817

治警特檢發第八一號

康德七年二月十四日

治安部警務司長

外務局長官殿

出版物記事取締ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ本日各警察機關ニ對シ別紙ノ通通牒セリ
右通報ス

駐日滿洲國大使館

7, 2, 15, 100,000 A

S 1.3.5.0 -1 503

0818

REEL No. A-0432

0152

アジア歴史資料センター

懸案

1350.10

公 信 案	五月三十一日附 録 「 <u>南洋協鉄</u> 」掲載 記事送付件	受 信 人 名	南 洋 協 鉄 株 式 会 社
		受 信 人 名	総 裁 室 弘 報 課 長 芝 田 研 三 郎
外 務 省	五月三十一日附 録 「 <u>南洋協鉄</u> 」掲載 記事送付件	記 録 件 名	本 報 特 約 記 事 採 集 部 長 保 官 同 書 一 稿 挿 入 清 津
		記 録 件 名	本 報 特 約 記 事 採 集 部 長 保 官 同 書 一 稿 挿 入 清 津

文書課長

文書課發達昭和五年五月卅日

發送済

淨書

正校(原稿)本稿(淨書)

主
管
情
報
部
長
任
主
第
三
課
長

昭和五年五月二十九日起草

報
三
機
密
第
九
二
號
昭
和
五
年
五
月
卅
日
附
屬

別紙
15.5.30
藤

S 1.3.5.0-1

708

0929

取締上ノ参考

一、本件ニ付テハ更テ新聞社ニ示達スルニ及バズ

二、交渉ノ経緯トハ交渉ノ日時、場所、當事者及交渉ノ内容等一切ヲ

含ム

三、發表ハ弘報處ヨリ發表タルコトヲ明記シテ掲載セシムルヲ原則ト

スルモ事情ニヨリテハ弘報處發表タルコトヲ明記セス發表事項ヲ

記事材料トシテ弘報處ヨリ各新聞社ニ提供スルコトアリ前者ノ場

合ニハ本部ヨリ通牒セザルモ後者ノ場合ニアリテハ其ノ都度通牒

ス

駐日滿洲國大使館

7, 2, 15, 100,000 A

S 1.3.5.0-1

505

0819

REEL No. A-0432

アジア歴史資料センター

A 3.5.0 / 0
(分類 ~~A 3.5.0 / 0~~)

源著附書
原書
A 3.5.0 819
馬

昭 和 15 一 六 三 六 六 略

本 省 六月十日 後發
十日 夜着

有 田 外 務 大 臣

第 四 六 二 號

東 印 度 日 報 漢 字 版 又 復 本 十 日 附 ヲ 以 テ 前 回 同 様 反 支 反 歐 記 事 ヲ 掲 載
セ リ ト ノ 理 由 ヲ 以 テ 二 週 間 ノ 停 刊 ヲ 命 セ ラ レ タ リ 尙 「マ カ ツ サ」 ノ
華 僑 日 報 (漢 字 紙) モ 同 日 附 ヲ 以 テ 反 日 記 事 ヲ 掲 載 セ リ ト ノ 理 由 ニ
依 リ 八 日 間 ノ 停 刊 ヲ 命 セ ラ レ タ ル 趣 ナ リ 不 取 敢 (了)

齊 藤 總 領 事

外
務
省

(日本標準規格 B5)
S 1.3.5.0-1 712 0824

2

本 電 宛 先 大 臣、滿、北 支 各 公 館 長

上 海 へ 轉 電 セ リ

外
務
省

S 1.3.5.0-1 711 0823



寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 會計 秘書官

大臣 次官

電信課長

(分類 A3.5.0.10)

昭和15 五五一六七 略 天津 六月十四日後發 情、亞
 本省 十四日夜着

有田外務大臣 武藤總領事

第三二九號

北支各公館長及關東州長官宛

合第一九五號

天津日本租界榮街十二北支那經濟通信社發行「北支那」第七刊第六號(六月號)十七頁「外國租界ヲ何ウ見ルカ」同十八頁「租界ヲ何ウスルヤ」ト題スル記事ハ安寧ヲ害スル虞アルモノト認メ且軍側ノ強キ要望モ有之同記事ヲ削除處分ニ附シタル處貴館ニ於テモ右様御取計相成リ結果郵報相煩度シ追テ本出版物ノ主タル頒布先ハ同社北

外務省

S 1.3.5.0-1 714

記 0825

編者附言
原書
A3.5.0.10
三行

(分類 A3.5.0.10)

昭和15 一六五五六 暗 維納 六月十一日後發
 本省 十二日前着

有田外務大臣 山路總領事

第一〇九號

五月二十一日東京朝日朝刊ハ二十日伯林ヨリ確實ナル筋ニ到着セル情報トシテ獨洪間軍事協定成立說等ヲ報シ居ル處當館ニ於テモ往電第八七號及第八九號ヲ以テ同趣旨ノ報告ヲ爲シ居ル關係モアルニ付斯ル事項ノ新聞掲載ニ付テハ慎重ノ御考慮希望ニ堪ヘス(了)

外務省

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0-1 713 0825

京總局大連支社濟南 プンボウ 堂等ナル趣ニ付爲念
 本電宛先在北支各公館長關東州長官
 大臣へ轉電セリ

2

外務省

S 1.3.5.0 -1 715

0827

編者附言
 系書
 寫

(分類 A95.0.10.)

昭和15 五五七四〇 暗 南京 七月三日後發
 本省 三日夜着 阿部大使
 有田外務大臣
 第二一八號(至急)
 新條約締結交渉ニ關スル報道指導要領ハ支那側ト相談ノ結果左ノ通
 リ決定セリ陸海軍トモ聯絡濟
 一 調印ノ運ヒニ至ル迄ハ宣傳ヲ行ハス
 二 交渉開始ノ際ハ輕ク其ノ旨日支兩當局ヨリ發表ス但シ人名ヲ發表
 セス(日本側ハ大使之ニ當リ隨員補佐ス支那側ハ汪院長統率ノ下
 ニ外交部長其ノ他重要幹部之ニ當ルトノ趣旨ニテ應酬ス)第一日
 會議ノ寫眞ハ報道部ノ記録寫眞ノ外ハ新聞社ノ報道寫眞ノ撮影ヲ
 禁シ且寫眞ノ掲載ヲ禁シ
 三 交渉中ハ必要ニ應ジ日支事前聯絡ノ上共同「コムミニケ」ヲ發表
 ス此ノ場合日本側ハ大使館之ニ當リ支那側ハ宣傳部之ニ當ル

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.3.5.0 -1

716

0828

在支各總領事及香港へ轉電セリ

外務省

日本標準規格 B5) S 1.3.5.0 -1 717 0829

昭和15 五五七四一 暗 南京 七月三日後發
本省 三日後着

有田外務大臣 阿部大使

第二一九號(至急)

往電第二一八號ニ關シ

二ノ第二項ノ交渉人員ノ發表ヲ支那側ハ慢レ居ルニ付此ノ點御手配願度シ

尙二ノ第一項ノ共同「コミュニケ」ハ四日午後五時大使館及宣傳部ヨリ左ノ趣旨ル發表シ之ヲ五日ノ朝刊ニ掲載セシムルコトニ決定セリ

「日支兩國ノ新關係ヲ律スヘキ條約締結ニ關スル交渉ハ七月五日ヨリ開始セララルコトニ決定セリ」
上海、北京へ轉電セリ

外務省

日本標準規格 B5) S 1.3.5.0 -1 718 0830

REEL No. A-0432

0158

アジア歴史資料センター

大臣

情報部長

第一課長

機密第二〇號 (北大密二機密第一三五號)

第二課長

昭和十五年七月三日

在中華民國 (北京)

大使館參事官 藤井啓之助

寫

第三課長

在青島

總領事代理 石川實殿

分類 1.3.5.0.10

新聞記事取締ニ關スル件

貴地發行ニ係ル六月廿八日附青島新聞朝刊第三頁「經濟漫語」(松崎雄二郎署名)ト題スル記事中「發表してゐるか悪いか解らないが津石線は變更され石德線に決定云々」ト新設鐵道ニ關スル評論ヲ掲載シ居ル處右ハ五月十一日附手配方申進置キタル北支ニ於ケル鐵道

S 1.3.5.0-1 719

情 15.7.19 課書文 15.7.18 庶 受收

0831

新線ノ建設ニ關スル禁止事項ニ抵觸スルモノニシテ此ノ種記事ノ掲載ハ差止メ可然モノト存セラルルニ付今後斯ル記事ニ關シテハ充分御留意相煩度此際申進ス

本信寫送付先 大臣

北京、天津、濟南、張家口、石家莊、太原、徐州
山海關 各公館長

S 1.3.5.0-1 720

0832

編者附言
 有田外務大臣
 第一四一六號
 本官發南大、漢口宛電報
 警務部長ヨリ
 七月七日上海ニ於ケル米國第四「マリオン」ノ日本私服憲兵暴行事件報道ニ關シテハ同隊今回ノ非行ニ關スル報道ハ差支ナキモ該事件ヲ日米關係ノ全面的摩擦ニ迄發展セシムル惧アル新聞記事掲載竝ニ通信ハ一切之ヲ禁止方當方ニ於テ發令シタルニ付同様御取計相成度シ

(分類) 1.3.5.0.10

昭和15 五五九九七 略 上海 七月十一日後發
 本省 十一月夜着
 三浦總領事
 有田外務大臣
 第一四一六號
 本官發南大、漢口宛電報
 合第八〇九號
 警務部長ヨリ
 七月七日上海ニ於ケル米國第四「マリオン」ノ日本私服憲兵暴行事件報道ニ關シテハ同隊今回ノ非行ニ關スル報道ハ差支ナキモ該事件ヲ日米關係ノ全面的摩擦ニ迄發展セシムル惧アル新聞記事掲載竝ニ通信ハ一切之ヲ禁止方當方ニ於テ發令シタルニ付同様御取計相成度シ
 大臣、北大、香港、廣東、廈門、汕頭へ轉電セリ

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0 -1 721 0835

外務省

編者附言
 有田外務大臣
 第五一七號
 張家口、青島、濟南、天津、太原宛電報
 合第三一二號
 七月七日上海ニ於ケル米國「マリオン」ノ我カ私服憲兵暴行事件ニ關シテハ同隊非行ニ關スル報道ハ差支ナキモ同事件ヲ日本關係ノ全面的摩擦ニ迄發展セシメル惧アル新聞記事掲載竝ニ通信ハ一切禁止シタル趣上海總領事ヨリ通報アリタルニ付テハ貴方ニ於テモ右ニ準シ然ル可ク御取扱相成度シ(了)

(分類) 1.3.5.0.10

昭和15 五六〇三四 略 北京 七月十二日後發
 本省 十二月夜着
 藤井參事官
 有田外務大臣
 第五一七號
 張家口、青島、濟南、天津、太原宛電報
 合第三一二號
 七月七日上海ニ於ケル米國「マリオン」ノ我カ私服憲兵暴行事件ニ關シテハ同隊非行ニ關スル報道ハ差支ナキモ同事件ヲ日本關係ノ全面的摩擦ニ迄發展セシメル惧アル新聞記事掲載竝ニ通信ハ一切禁止シタル趣上海總領事ヨリ通報アリタルニ付テハ貴方ニ於テモ右ニ準シ然ル可ク御取扱相成度シ(了)

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0 -1 722 0834

外務省



編者附言
手書
30-36/1
三任

(分類) 13.5.0.10

昭和15 五六一一八 略 上海 七月十五日 後發
本省 十五日 夜着
三浦總領事
有田外務大臣
第一四五五號
本官發南京、漢口宛電報
合第八三九號
警務部長ヨリ
七月十五日上海ニ於テ舉行セラレタル揚子江水先協會發會式ニ關シ
テハ當局發表以外新聞記事掲載並ニ通信禁止方御取計相成度シ
大臣、北京(大)ニ轉電セリ

外務省

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0-1 723 0835

編者附言
手書
30-36/1
三任

(分類) 13.5.0.10

昭和15 五六一六二 略 北京 七月十七日 後發
本省 十七日 夜着
藤井參事官
有田外務大臣
第五三二號
本官發天津、青島宛電報
合第三二一號
七月十五日上海ニ於テ舉行セラレタル揚子江水先案內協會發會式ニ
關スル新聞記事掲載並ニ通信ハ當局發表以外禁止セル旨上海總領事
ヨリ通報アリタルニ付貴方ニ於テモ右ニ準シ可然御取計アリタシ
張家口ヨリ大同へ、天津ヨリ山海關へ轉報アリタシ
大臣、上海へ轉電セリ

外務省

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0-1 724 0836



編者附言
第...
50-40人
寫

(分類 A35.0.10)

昭和15 五六一五七 略 上海 七月十七日後發
本省 十七日後着 三浦總領事
有田外務大臣
第一四七一號
本官發南京、漢口宛電報
合第八五二號
警務部長ヨリ

記
中文ニ於ケル軍票工作及新中央銀行ニ關スル事項中左記各項ハ軍當局發表以外一切新聞、雜誌ノ記事掲載並ニ通信禁止相成度シ

- 一、軍票對策ニ關スル批判
- 二、軍票相場ニ關スル豫想
- 三、軍票對策ニ惡影響ヲ及ホス惧アル金融的事項
- 四、新中央銀行ノ設立時期及資本並ニ組織内容

外務省

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0 -1 725 0837

五新通貨發行額、價值基準及軍票トノ關係
大臣、北大へ轉電セリ

外務省

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0 -1 726 0838



頁	五
額	三
項	三
目	二
種	二

編者附言
右の通り左ニテアリ
寫

類 A3.5.0.10

昭和15 二一七八三 暗 南京 七月十七日後發
本省 十八日前着

有田外務大臣

阿部大使

第二六〇號（至急）

新中央儲備銀行ノ設立新法幣ノ發行竝之等ニ關聯スル事項ハ日支双方當局協議ノ上特ニ許可シタルモノヲ除クノ外之カ新聞記事掲載禁止ノ手續ヲ取リタク既ニ現地限り我方ハ之ヲ實施セルニ付東京ニ於テ至急之カ所要ノ手續ヲ講セフル様願度シ
尙總軍ヨリモ既ニ同様意嚮電報濟ノ筈ナリ
北（大）在支各總領事ヘ轉電セリ

外務省

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0-1 727 0839

昭和15 二一七八二 暗 上海 七月二十日後發
本省 二十日夜着

有田外務大臣

三浦總領事

第一五〇八號

豫テ當地ニ於テ協議中ナリシ揚子江水先協會強化問題ニ關シテハ與亞院側ノ主導ニ依リ從來ノ陸海軍囑託、長江水先人ヲ一括シテ新ニ新協會ヲ結成セシムルコトトシ十五日創立總會ヲ開キ八月一日ヨリ揚子江水先協會トシテ業務ヲ開始スルコトトナレリ尙從來ノ日本人水先協會ハ別段之ヲ解散スルコトナク名義上新タナル協會ト並行存在スル形ヲ執ルコトトナリ居レリ委細郵報
北京、南京（大）、天津、漢口ヘ轉電セリ

外務省

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0-1 728 0839-1

情報部長 第一課長 静岡縣 昭和十五年七月廿五日接

特秘檢第五四六號ノ一

昭和十五年七月廿三日

静岡縣 警察部長

外務省 情報部長 殿

外務省令ニ依ル新聞記事掲載禁止事項中當局發表
事實ノ有無ニ關スル件照會

本年五月十六日付管下發行新聞紙ニ寒天ヲ獨乙ニ輸出記事ヲ掲載シタル
モノ有之右犯罪捜査上必要ニ付客年十一月十八日(本年二月廿二日)四月廿三日(一部改訂)
外務省令第二十一號ニ依リ新聞記事掲載ヲ禁止セラレタル「日滿兩國ト
獨逸トノ間ノ貿易ニ關スル事項」中寒天ノ獨逸國輸出ニ關シ外務當局ヨ
リ發表セラレタル事實ノ有無竝若シアラバ之レガ發表事項ニ付御回答相
煩度此段及照會候也

2056

通田 閣下 御令セム原

S 1.3.5.0 -1 729

0840

15.7.23 廢

源着原書
A 3.5.0-1
ニテリ

(分類 A 3.5.0-1)

昭和15 二二二八八 暗

南京 七月二十四日後發
本省 二十五日前着

松岡外務大臣
第二七三號

阿部大使

上海「イーブニングポスト」等ニ掲ケラレタル二十一日「ハバス」
東京電報ハ「ジャパンタイムス」カ近衛新内閣ハ重慶ト和平交渉ヲ
爲スノ用意アルカ如キ社説ヲ掲ケタル旨報道シ居レル處御取調ノ上
誤解ヲ與フルカ如キ點アラハ「タイムス」側ニ適當注意喚起方御取
計アリタシ

上海へ轉電セリ

外務省

CH 本標準規格 B5) S 1.3.5.0 -1 730 0841

源着漸
原書
A 6/11/9
三ツリ

(分類 A 3.5.0.10)

馬

昭和15	五六五一三	略	上海	七月三十一日	後發
松岡外務大臣			本省	三十一日	夜着
第一六二四號					三浦總領事
本官發南京、漢口宛電報					
合第九五九號					
警務部長ヨリ					
近ク渡日スル態劍東一行ノ行動ニ關シテハ當分ノ間一切ノ記事竝ニ					
寫眞ノ掲載及通信禁止方御取計相成度シ(軍報道部)					
大臣、北京へ轉電セリ					

外務省

(日本標準規格B5) S 1.3.5.0-1 731 0842

REEL No. A-0432



アジア歴史資料センター

歐亞局長

第一課長

特外改第一一七七號

昭和十五年八月一日

警視總監 安倍源基



内務大臣 井英二 殿

北海道庁 福井 大坂兵庫
山口福岡 長崎

各廳府縣 長官 殿

東京刑事地方裁判所 檢察正 殿

蘇聯邦出版物講讀者調査方ニ関スル件
蘇聯邦新聞雜誌ノ講讀者ニ関シテハ共產主義思想宣傳取締関
係ニテ注意中ナルハ厚報ノ處最近東京中央郵便局取扱ノモノ
ヲ調査スルニ厄記ノ通ニ有之 御參考迄

分類 350.10

昭和十五年八月一日



S 1.3.5.0 -1 732 0845

右及申(通)報候

記

一、プロラウダ

- 横濱市 神奈川区 日吉 布施勝治
- 東京市 中野区 野方町一丁目 里田乙吉
- 日比谷公園市政會館 原子廣轉
- 東京日々新聞社 馬場秀夫
- 渋谷区代々木大山町一丁目 中村芳郎
- 麹町区丸の内中四拔館七 昭平研究会
- 大塚市 堂島 大塚毎日
- 中ノ島 朝日
- 東京市 京橋区 西銀座 讀書新聞
- 六丁目 日本電報通信社

S 1.3.5.0 -1 733

東京市芝区琴平町フシヤビル	国際思想研究所
中央郵便局私書函六〇五	丸善
麹町区	東京朝日
内幸町	日露協會
丸ビル	日露通信社
東京朝日新聞社内	東亜研究所
日本橋区ムロ町	三井合衆會社
淀橋区西大久保四丁目一七〇	善隣協會
	貴族院
	東京都市逓信局
	早稻田大學
	陸軍省軍務局
	小岩井ヒロシ
本郷 南江堂	コカケ
東京市東京ビル	東亜經濟研究所
芝区白金三光町	回教圈研究所
丸の内有樂館	北樺太石油會社
赤坂虎ノ門	滿鐵支社
麹町区内幸町	日本放送協會
麻布区富士見町	内閣統計局
福井縣	福井縣廳
東京市鉄鋼會館	鉄鋼聯盟
丸の内ビル	露領水産組合
東京中央電信局	文書課
	參謀本部
	内務省警保局

國民思想研究所

S 1.3.5.0-1 735

S 1.3.5.0-1 734

0844



函館市
敦賀市

蘇聯領事館

ソウエイト大使館
 バルホーケコ、バブローフ、エプリーチエス、リブキン
 アレクセーエス、サモガエス、オウスヤニコス、ミチン
 ガリンキン、ジューケコス、レトーフ
 タス通信社
 麻布区シニリエノトウ町一ニ
 ニコラーエフ
 ケキン
 メトウエーケエフ

S 1.3.5.0 -1

737

東京市

ソウエイト大使館
 軍令部
 内閣情報部
 陸軍技術本部
 企画院
 附陸軍武官
 附海軍武官
 セルケトフ
 ゲネラーロフ
 モクヤーロフ
 パフリーケエフ
 ドルビレ
 フコッキン
 マリーニエス
 エルカーケエス
 メリニコス

S 1.3.5.0 -1

736

0845

イヌヴェニスマル

東京市日比谷公園市政会館

原子廣轉

渋谷区代々木大山町一〇六四 中村芳郎

小石川区小日向水道町一〇八山ノ内一郎

東京日々 馬場秀夫

日本橋区本石三丁目 東京外語

芝区琴平町アビヤビル 東京經濟新報社

丸ノ内ビル 國際思想研究所

東京中央局私書函七 日蘇通信社

東京朝日新聞社 三菱經濟調查部

栗田研究会 實後茂

昭研研究会

日露協会

財政經濟調查部

橫濱正金銀行

インナーリスト

日本電通

蘇聯通商代表

滿鉄産業部

警視廳特高外事課

報知新聞社

丸善

善隣協会

日本銀行

大藏省

日本橋

麹町区

麻布区新藤土町

赤坂区

櫻田門

東京中央局私書函六〇五

淀橋区西大久保四ノ一七〇

日本橋

S 1.3.5.0 -1 739

S 1.3.5.0 -1 738

0845



東京市丸の内三丁目四
 大塚市
 奈良縣天理
 東京市
 北樺太石油会社
 大塚外務
 大塚朝日
 天理外務
 内閣情報部
 教養系思想課
 企画院
 参謀本部
 軍令部
 海軍武官
 印刷系図書室
 アスローフ
 フェオケストス
 ガホルゲン、マネーウイッチ
 函館
 武官
 東京市独乙大使館
 武官
 蘇聯領事館
 タス通信社
 東京市日比谷公園市政會館
 東京日々
 牛込区
 蘇聯大使館
 陸軍武官海軍武官
 軍令部
 参謀本部
 圖書室
 陸軍予科士官学校
 馬場秀夫
 原子廣轉
 クラースナマ、スウエマター

S 1.3.5.0 -1

741

S 1.3.5.0 -1

740

084



東京市

致厚而恩想課

外務省

圖書室

蘇聯大使館

「ピシエウアマ、インロウストリヤ」

東京中央郵便局和書函天。五 丸善

東京市

外務省

企画院

「クラスヌイ フロート」

横濱市神奈川区日吉本町

布施勝治

東京市 蘇聯大使館

海軍武官

軍令部

「イヴァンイオンナマカセータ」

群馬縣大田町

中島飛行機製作所

東京市

外務省

「ストライイケユリナマカセータ」

京都市大建築科

西山ウヅノ教授

「チーホオケアインスカマズウエズカ」

東京市又ノ内ビル

北樺太鑛業会社

「ホルレエウイーク」

東京中央系私書函六。五所

丸善内 中村

内閣情報部

S 1.3.5.0 -1

745

S 1.3.5.0 -1

744

0849

函館

蘇聯領事館

以上

東京

「コミンテルン」

福井

敦賀

函館

「
」
「
」
「
」
「
」

東京市 蘇聯大使館

企画院

陸軍武官

海軍武官

ケネラーロフ

トルヒレ

フロートキレ

バブローフ

蘇聯領事館

福井縣廳

蘇聯大使館

S 1.3.5.0 -1

747

S 1.3.5.0 -1

746

0859

電信課長

大臣 次官

伏見官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 儀典 文書 會計 祕書官

寫送先

昭和15 五六六一三 略 北京 八月三日後發 本省 三日夜着 亞、情

松岡外務大臣

藤井參事官

第一五九八號

本官發張家口、天津、青島、宛電報

合第五九八號

近ク渡日スル熊劍東一行ノ行動ニ關シテハ當分ノ間一切ノ記事竝ニ

寫真ノ掲載及通信ヲ禁止シタル趣中支警務部長ヨリ通報アリタルニ

付テハ貴方ニ於テモ右ニ準シ然ルヘク御取計相成度

張家口ヨリ大同ヘ轉報アリタシ

天津ヨリ山海關ヘ轉報アリタシ

本報新聞館取録閣下存録件

外務省

S 1.3.5.0-1 748 0854

大臣、南京、上海へ轉電セリ

外務省

2

S 1.3.5.0-1 749 0854

